

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 89 号

発行日 令和 4 年11月30日

発行人 金井 明 靖

TEL・FAX 026-244-5165

3年ぶり！第40回「浅川ゆうわ祭」開催される！！

11月6日（日）、コロナ感染拡大で休止していた浅川ゆうわ祭が3年ぶりで開催されました。

今年に入ってもコロナ感染拡大第7波が猛威を振るい地区運動会は中止せざるを得なくなり、ゆうわ祭についても開催が危ぶまれる状況でしたが、地公連のみなさんのご苦勞と英断により開催に漕ぎ着けることができました。

今回はコロナ感染の現状を考慮、会場全体を一方通行にし、外会場では飲食を伴う出店は取りやめ出店数を限定、屋内での展示とステージ発表も規模を縮小することとしました。

それでも展示コーナーでは書道、写真、絵手紙、折り紙手芸、木彫、俳画、絵画、パッチワーク、陶芸など、趣味の域を超えた力作が揃いました。またステージ発表では出演した団体は8組と少なかったものの浅川小学校の合唱を皮切りに地区のグループ・団体の熱演に会場のみなさんの拍手が湧きました。なお、コロナ対策のため各演目ごとに会場の入替え・消毒をしました。

外会場ではゆうわ祭のスローガンの“お祭りパワーで地域力アップ”に違わず、野菜直売、フリーマーケット、福祉バザーなど多彩な出店に大勢の来場者で賑わいました。



【浅川小学校の合唱で開会】

(教育文化部会 地区公民館連合会)

< 熱演！ステージ発表 >



【クローバー（フォークソング）】



【南京玉すだれ “ほんぼこ班”】



【コールポプラ（コーラス）】

< 屋内会場・展示コーナー >



【手作り品販売（更生保護女性会）】



【展示コーナーは力作が揃いました！】



< 外会場～多彩な出店で賑わいました！ >



【福祉バザー（社会福祉協議会）】



【フリーマーケット（ふくちゃん会）】



【農産物直売（産業振興部会）】

3年ぶり!

浅川地区防災訓練行われる～浅川地区災害対策本部～

9月24日（土）前日からの雨が朝まで残る中、災害対策本部の金井本部長、山岸・小林両副本部長等が7時前から集合して協議し、天候の回復を予想して訓練決行を決めました。ただ大雨警報が継続中のため、各区は区長・防災指導員のみ、消防団と赤十字奉仕団は全員、その他本部関係団体は団体長のみで人数を縮小することとし80名余が参集しました。

朝7時30分震度6強の地震が発生したとの想定の下、各区長（自主防災会長）は電話で支所に被災状況第1報を伝え避難を開始、災害対策本部長（住民自治協議会長）以下、第1次配備の班長らは9時までに防災対策本部を立ち上げ、避難してきた各区からの被災情報（第2報）を情報班に集める情報伝達訓練を行いました。

コロナ禍で活動もままならなかった消防団浅川分団による放水訓練を皮切りに、参加者が2班に分かれ（A）煙体験・消火器操作訓練及び消火栓の取り扱い方法、（B）救急救命・AED操作訓練・搬送訓練をローテーションで実施しました。また併行して赤十字奉仕団を中心に救急救護班による炊出し訓練が行われました。訓練の最後に麺つゆで味付けした炊き出し米が参加者に配られました。

浅川地区では幸いにして地区全体にわたる大きな災害が少ないとはいえ、3年前の台風19号災害や平成26年の神城断層地震による被害はまだ記憶に残るところです。近年甚大化する台風や線状降水帯によるゲリラ豪雨等への備えもますます重要になっている昨今、普段からの心構えと準備が必要だと改めて感じさせられました。



【小雨の中で訓練開始式】



【消防団による放水訓練】



【煙体験訓練～前が全く見えない！】



【体育館ではAEDによる救命措置、毛布を使った搬送、負傷者を2人で抱える搬送訓練が行われました！】



【炊出し訓練～味付けは好評！】



【消火栓の取扱いを説明】



【終了式～何とか天気持ちました】

浅川にワインの風を！～ブドウ4年目で初収穫！【地域おこしの現場から vol.4】

2018年から地域おこし協力隊員として浅川に移住し、ワイン用ブドウ作りを始めた宋裕光さんのブドウ園で、10月15日（土）、4年目にして初めてのブドウ収穫が行われました。

当日は仙台から駆けつけた宋さんの奥さんのご両親、市内や埼玉・東京からの友人たち、そして住民自治協議会やチーム・フロンティア浅川、花*花隊、北部中学校の生徒さん、宋さんが住む伺去のみなさん等45名が応援にかけつけました。

今回収穫したのは白ワインになるシャルドネという品種。はち切れんばかりに実ったぶどうは“赤ちゃんを抱くようにやさしく扱って”という宋さんの説明の後、摘み取り作業に入りました。摘み取ったブドウは1か所に集められ不良果・未熟果が取り除かれました。8時半に始められた作業は大勢のみなさんのお陰でお昼前には終了しました。

収穫量は500kg位かと予想していましたが700kg。ブドウは早速東御市の醸造所に持ち込まれ、来年秋には「浅川産ワイン」の誕生となります。

宋さんはこのブドウ畑の名前を「長野市浅川^{ぶどう}葡萄農園」と決めたといいます。このブドウ園が浅川地区に根付き浅川に爽やかな“ワインの風”を吹き渡らせてくれることを願っています。

浅川に来て4年間、浅川地区の多くのみなさんのご理解とご支援でようやくここまで辿り着きました。言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。これからもこのブドウ園が、浅川地区のみなさんに愛され成長していくよう全力で取り組んでいく決意です。変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。
(宋 裕光)



【たわわに実ったブドウ】



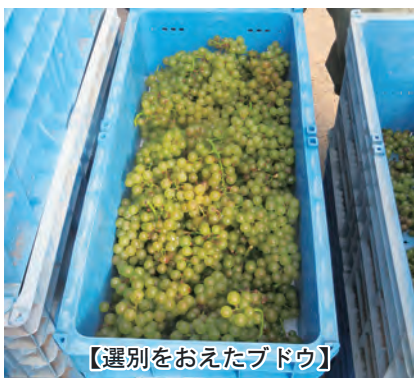
【ブドウの扱いを説明する宋さん】



【摘み取り作業に汗を流します！】



【選別作業は人海戦術で！】



【選別をおえたブドウ】



【大勢のみなさんが参加しました。ありがとう！】

浅川西条で保護司会「なかよし交流会」開かれる！

10月10日（月）西条団地集会所で浅川地区保護司会主催「なかよし交流会」が開かれました。子どもからお年寄りまで地域住民の絆を深め合う場として浅川地区保護司会が企画し開催してきた「なかよし交流会」は今年で6回目となります。

今回は“先輩の皆さんから知恵を学ぼう！”をテーマに「わりばし鉄砲作り」や「スワッグ作り（“スワッグ”とはドイツ語で“壁飾り”の意味）、「あやとり・お手玉」、「防災カルタ・防災すごろく」など多彩なコーナーが設けられました。また参加者には女性陣が作った「ニラせんべい」が振る舞われました。

参加した子どもも大人もお年寄りもみなさん、ゲームや工作に興じ、「ニラせんべい」をいただき楽しい一日を過ごしました。



【会場風景】



【すごろく】



【スワッグ作り】



【あやとり・お手玉】



【わりばし鉄砲作り】



【和室でニラせんべい作り】

浅川地区戦没者追悼式挙行される ～浅川地区戦没者追悼式実行委員会～

10月8日（土）コロナ感染状況を考慮し、戦没者御遺族、来賓、遺族の属する区長及び実行委員の35名が参列して、浅川地区戦没者追悼式が行われました。

式は列席者黙祷、君が代斉唱に続いて、金井実行委員長の式辞、埋橋県議、寺沢市議、竹元遺族会長の追悼の言葉が慰霊に捧げられました。

戦後77年を経過し遺族会員の高齢化も進み、浅川地区の会員は24名、今回参列した遺族が12名と減少の一途を辿っています。戦争の惨禍を思い起こし戦没者を追悼し続けることの意味を改めて問う一日となりました。



【明治以降の戦争の戦没者招魂碑～裏面に93柱のお名前がある（公民館分室前庭）】



【黙祷】



【金井住自協会長“式辞”】



【竹元遺族会長“追悼のことば”】



【献花】



【遺族会、来賓のみなさん】

浅川河川敷のハuckleベリー、今年もジャムが出来ました！

浅川河川敷にハuckleベリーが自生することを
知ってから7年、本格的にジャムに商品化してか
ら4年目、今年もハuckleベリーが実りました。

10月1日～2日の2日間、チーム・フロンティア浅川（竹村美岐雄代表）メンバー、真光寺地区

やボランティア30名余のみ
なさんの協力で収穫・選別
作業が行われました。今年
は病害もあり収穫量は191.5
kg（昨年は約685kg）と少
なかったのですが、集まっ
たみなさんは真光寺公民館
の前庭で和気藹々と実のも
ぎ取り作業を行いました。

収穫したハuckleベリー
は早速加工をお願いしてい
る信越食品工業株式会社に
持ち込まれ「浅川産ハuckle
ベリージャム」になりました。出来上
がったジャムは743個。販売前から予約
やリピーターの購入もあり、3年ぶりに
開催された「ゆうわ祭」でも販売されま
した。



【自生するハuckleベリー
～加藤前市長に説明（2017.10.5）】



【種まき】



【実をつけました！】



【みんなで刈り取り、実をもぎ取り…】



【協力していただいたみなさん！お疲れ様でした】



【10月2日】



【みんなでジャムにラベル貼りして、完成しました】

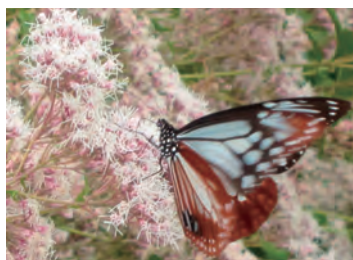


今年もアサギマダラがやってきました！～浅川フジバカマ苑～

9月9日に飛来が確認されてから中旬まで、昨年はこの時期に乱舞していた“旅する蝶”アサギマダラの飛来が少なく、猛暑や天候不順の影響かと心配していましたが、中旬以降、日を追うごとに飛来数が増えて、9月下旬には70頭を超えるアサギマダラを確認することができました。地区内外から見学者も訪れ、蝶の舞う姿にひとときのやすらぎをえている様子でした。

「第一次浅川まちづくり計画」の一環で2016（平成18）年に七二会地区からフジバカマの苗をもらい受けて浅川ダム河畔に開設した浅川フジバカマ苑。

チーム・フロンティア浅川（竹村美岐雄代表）のメンバーやボランティアのみなさんが草刈り、肥料撒き等整備を行っています。浅川ダム周辺・浅川地区の“名所”として地域に愛される場所として続いていくことを願っています。



【フジバカマに飛来し蜜を吸うアサギマダラ】



【みなさんの協力でフジバカマ苑が整備されています！】

浅川小学校「浅川チャレンジ」行われる！

11月4日（金）子ども達が地域を歩いて浅川地区の自然や史跡等を自分の目で見ることを通して、自分たちの暮らす浅川をさらに知ることを目的に「浅川チャレンジ」が行われました。

各学年ごとに6コースが設けられ、みんなで励まし合いながら目的地を巡りました。現地では区長さんほか地域のみなさんに地域や史跡の説明を行っていただきました。



【朝川原神社で説明を受ける6年生】



【4年生は長野市霊園（ゴマシジミの生息地）（左）



1年生は西条諏訪社（右）を見学】

浅川小学校でワレモコウの植え替え行われる！

～希少種蝶ゴマシジミ保護育成のために～



【紙芝居「がんばれ！ゴマシジミ」の上演】

10月5日（水）浅川小学校の子どもたちがゴマシジミの保護育成活動の一環として、ゴマシジミが卵を産み付けるワレモコウの苗の掘り上げを行いました。小学校の中庭に植えられていた苗は長野市霊園に届けられ、ゴマシジミの生息する場所に植え付けられゴマシジミの到来を待ちます。



【みんなで植え替えをしました】

植え替えの前には紙芝居クラブ「にこにこ一座」によるゴマシジミの一生を描いた紙芝居「がんばれ！ゴマシジミ」の上演が行われました。

北部中学校校外学習行われる！

～ブランド薬師・白岩・浅川ダムに～

10月13日（木）北部中学校1年生の校外学習が行われ、浅川・若槻地区を身近な地域の歴史や文化、産業を学ぶことを目的に7コースに分かれて歩きました。

浅川地区ではブランド薬師（13人）・白岩（32人）・浅川ダム（31人）の3コースが計画されました（※（ ）内は参加人数）。ブランド薬師では八槨神社保存会の宮澤重徳会長、白岩では小島高志前公民館長、浅川ダムでは市の職員が案内、説明をしました。



【ブランド薬師（八槨神社）】



【白岩】



共に生きる



9月 陶芸教室



浅川 おとこ塾



3日目はウクレレ演

成です。
「浅川おとこ塾に
参加して」
宮坂 和光
今回は講師の伴野先
生に3日でウクレレの
キットを完成させ、演
奏を指導して頂くとい
う講座でした。ボディ
とネックを接着した後
やすりをかけてオイル
を塗り、弦を張って完
成です。



11月 消しゴムはんこ

どの講座もすてきな作品
ができました！
スタッフ一同

奏入門で「アロハ・オエ」
の弾き方を教えて頂きま
した。指が思うように動
きませんでした。あと
は練習あるのみです。
この講座を開くにあ
たってウクレレを試作し
たりエプロンなど用意し
て頂いたスタッフの皆さ
ん、有難うございました。



10月 ウクレレ講座

車いす・介助研修

砂利道はタイヤを取られて
進みにくいですが、操作の
仕方を学ぶと女性の力でも
男性を介助することができます。



エレベーターを利用する際
は乗る前に一言、声をかけ
て。腕を車いす幅より内側
に入れ、出入口でぶつから
ないように注意します。

11月におひとり暮らしのご高齢の方を対象に長野市内バスツアーを開催するのに先立ち、浅川社協では車いす介助のための役員研修を行いました。

長野市ボランティアセンターから講師をお招きし、浅川支所内ではエレベーターの乗り降りを体験。目的地のいろは堂おやきファーム敷地内では砂利道での操作方法のレクチャーを受けました。

ご寄付ありがとうございます！

浅川団地、伺去、北郷の方に今年度の地域たすけあい事業・賛助会員さんになっていただきました。ご協力に心より御礼を申し上げます。

賛助会員とは1口1,000円からの地域支援です。いただいた会費は全額浅川地区たすけあい事業の運営に使われます。

申込先：たすけあい事業コーディネーター
野口まで TEL263-3365



「お手紙大作戦に

参加して」

杉森 京子

私は折り紙で参加しました。子どもの頃を思い出して、楽しい時間でした。そして、出来上がった手紙を皆様の元へ・・・手紙を読んで頂くと笑顔が見られ、民生委員として次の訪問の時には折り紙が飾ってあったり、お返事を頂いた時には本当にうれしく、参加してよかったと思います。コロナ禍の中でのお手紙大作戦でしたが次回も楽しみたいと思っています。また折り紙で会いましょう。

お手紙大作戦！

今回は
月見うさぎ！

「優しい笑顔でほっこり」

西澤喜美子

私は過去に民生委員として6年間、地域のお年寄りに寄り添ってきました。そんな私もそれぞれの歳になりました(笑)
コロナ禍で「ふれあい会食会」やその他の活動ができない中、「お手紙大作戦」を耳にし、何かお手伝いをしたいの思いでいた所、前回から参加が叶いました。早速、「お手紙うれしかったよ」とお返事を頂きました。こちらこそ、ほっこり！
今回はお月見のうさぎさんが優しく見守っています。お手紙で皆様が喜んで頂けたら嬉しいです。

NEWS!

神楽橋区ではつらつ体操同好会が発足されました！
感染予防に気をつけながら皆さん和気あいあい、楽しく活動されています。



その他の主な事業・活動

<報告 9月~11月>

- ☆浅川地区市民運動会 9月4日(日) ⇒中止
- ☆秋の史跡めぐり(公民館) 10月15日(日)

<予定 12月~1月>

- ☆民生委員・児童委員新体制発足 12月~
- ☆しめ縄作り(地公連) 12月18日(日)
- ☆11地区合同成人式(地公連) 1月8日(日)

広報委員から

9月24日(土)浅川地区防災訓練が3年ぶりに開催されました。

訓練が始まると、経験者が少ないため、みなさんの動きがぎこちない印象を受けました。幸いにもこの期間浅川地区においては大きな災害がありませんでしたが、しっかり準備をしなければいけないと感じました。

今後は防災訓練が毎年開催され、多くの住民のみなさんに参加していただきたいと思いました。
広報委員 竹元 数由(安全防災部会 長野市消防団浅川分団長)